TOKIO MARINE Topics (物流関連速報)

台風 8 号の接近に伴う注意喚起

TOKIO MARINE GROUP
To Be a Good Company
東京海上日動火災保険株式会社
（2021 年 7 月 26 日）

各種ニュース報道のとおり、台風 8 号が関東や東北南部を直撃する予報が出ておりますので、本号では被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。今後の気象情報にご注意頂くとともに、本格的な台風シーズンにおいて、改めて自社における台風対策の実施状況をご確認されることをお勧めいたします。

1. 台風 8 号の進路予想

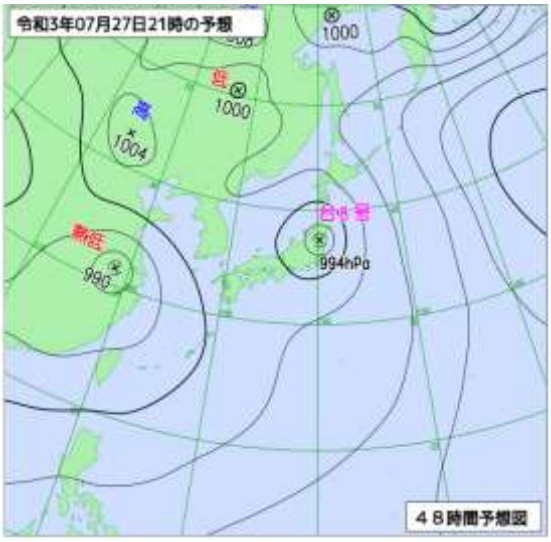
7 月 26 日(月) 9 時 45 分現在の気象庁予報部発表によると、台風 8 号は、日本の東にあって約 35km/h の速さで北北西へ進んでいます。中心の気圧は 992hpa、最大風速は 20m/s、最大瞬間風速は 30m/s で、中心の南東側 600km以内と北西側 390km以内では風速 15m/s 以上の強い風が吹いています。

大型ではないものの、夏の台風としては異例の進路をとる見込みです。日本の北側に張り出している太平洋高気圧の影響により西側にカーブしながら、27 日(火)には関東甲信や東北地方に接近、上陸し、本州を横断する見込みです。

台風 8 号の進路予想（7/26 午前 9 時 45 分気象庁発表）

関東地方や東北地方では、本日 7 月 26 日(月)夜半から 27 日(火)の朝にかけて大雨や暴風など大荒れの天気に見舞われるおそれがあります。予想降水量は各地 100 ミリ～150 ミリを見込み、局地的には雷雨・激しい雨の降るところがあるとともに、太平洋側の沿岸部は風も強まり、海上ではうねりを伴って、しけとなる見込みです。

今後も最新の気象情報に注意頂き、日中のうちに、前広な事前対策をお願いします 。



予想天気図（7/26 午前 6 時気象庁発表）

2. 事前の対策について

台風・集中豪雨は一般的に平時からリスクを想定し、タイムラインに沿った防災行動計画の策定と、対策ツールの準備など、具体的に対策を検討・実行していくことにより減災が可能と言われております。本格的な台風シーズン到来を機に、今一度、社内関係部署との連携方法や対策ツール類のご準備・すぐに取り出せて使用できる状態になっているかといったご確認をお勧めいたします。

各現場でご使用いただける点検チェックシートを添付いたしましたのでご活用下さい。

◇◆

【出典】 気象庁 https://www.jma.go.jp/jp/typh/本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。

編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

マリントピックス バックナンバー